

令和6年1月15日

江戸川区立小松川第二中学校
校長 清水 秀登

令和5年度 江戸川区立小松川第二中学校 学校アンケートを受けて

1 調査概要

(1) 期間

令和5年11月29日(水)～12月15日(金)

(2) 方法

- ・Microsoft Formsによる
- ・記名式

(3) 対象

第1学年から第3学年まで在籍する生徒の保護者(1家庭1回答)

(4) 回答数(回答率)

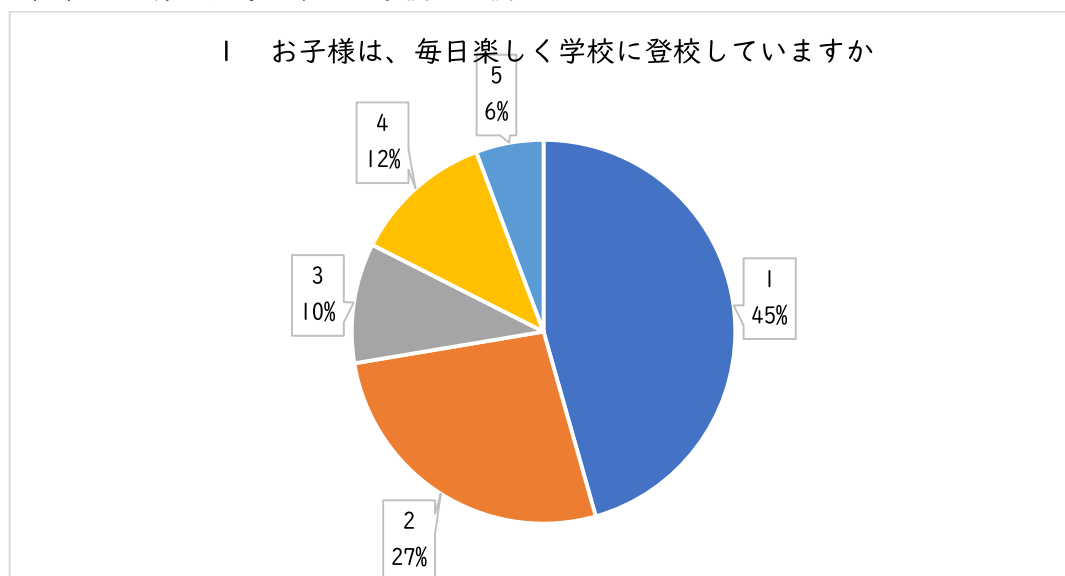
228名(47%)

2 回答概要

《評価項目》

- 1 あてはまる
- 2 ややあてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 わからない

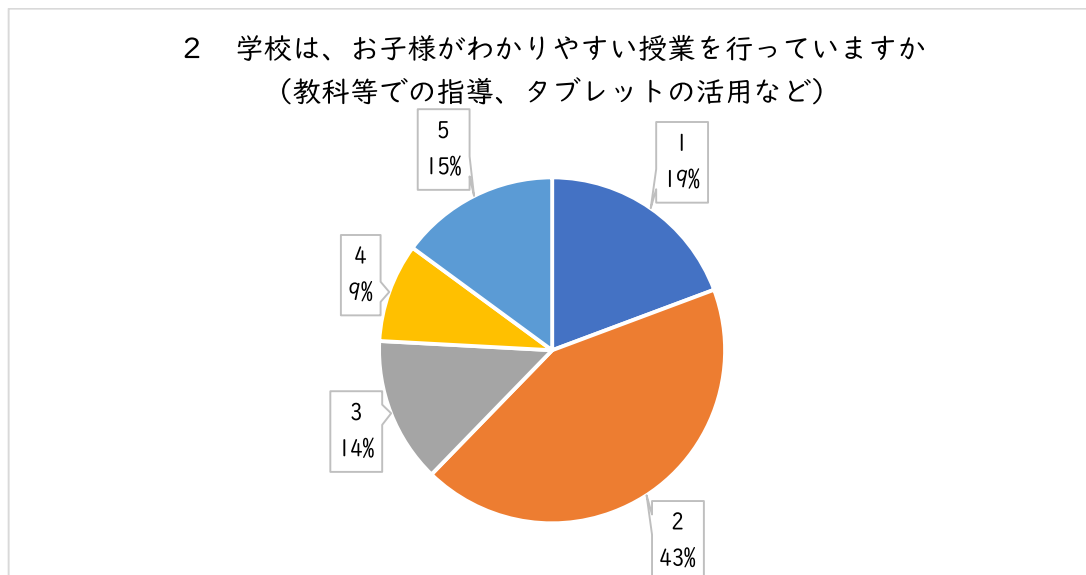
(1) お子様は、毎日楽しく学校に登校していますか



- ・肯定的な評価が72%
- ・特定の教科のある日に、通いたくないというご意見

→学校生活の基本となる、「学校が楽しい」と思える教育活動を行うため、引き続き生徒が興味をもって取り組む活動を推進するとともに、生徒一人一人の課題に合った教育活動を行うことができるよう、教職員が一体となって取り組んでいきます。

(2) 学校は、お子様がわかりやすい授業を行っていますか（教科等での指導、タブレットの活用など）

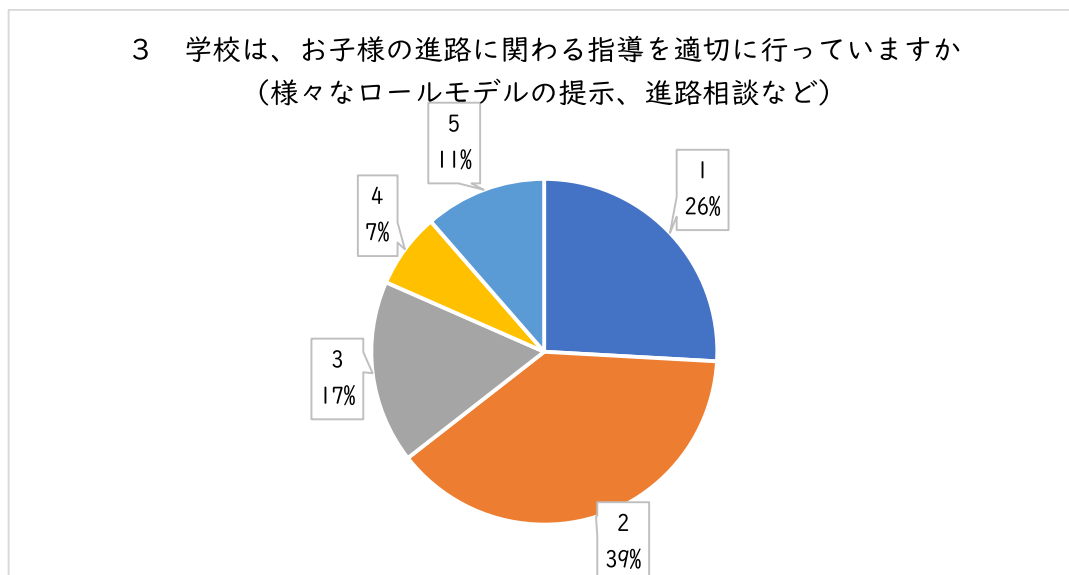


- ・肯定的な評価が62%
- ・わかりにくい授業になっている教科があるというご意見
- ・家庭でのiPadの使い方を指導してほしいというご意見

→タブレットを活用した教育活動について、教員同士の良活動事例や、他校の先進事例を共有する研修会を実施し、わかりやすい授業の展開に努めていきます。

「SNS東京ルール」「小松川第二中学校SNS学校ルール」「えどタブルール」を基にした「SNS家庭ルール」の策定を推進し、情報化社会のリテラシーを育みます。

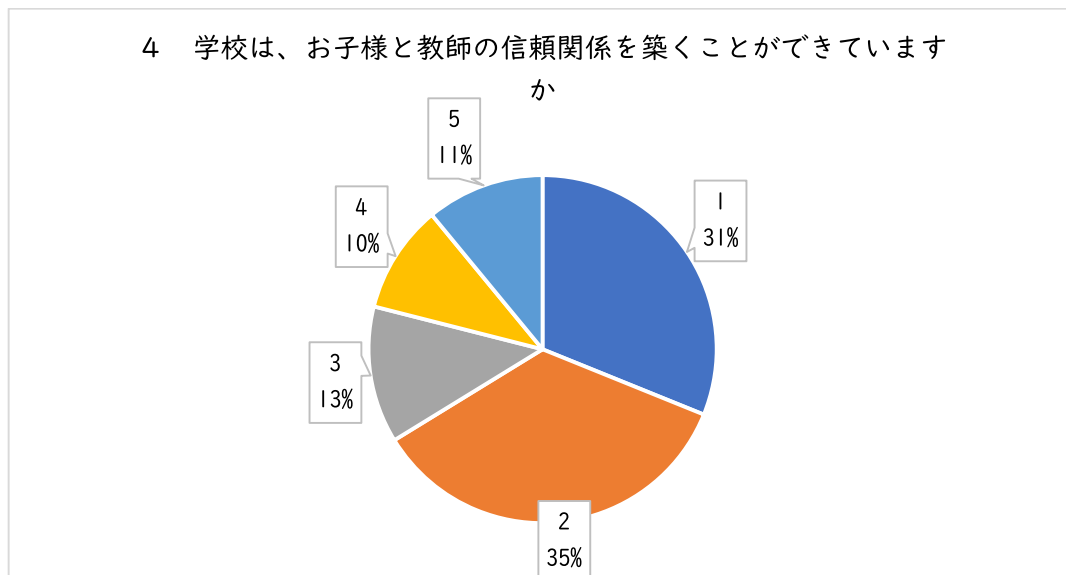
(3) 学校は、お子様の進路に関わる指導を適切に行っていますか（様々なロールモデルの提示、進路相談など）



- ・肯定的な評価が65%
- ・「夢らくざ」など、職業に関する取組は発信されているが、進路相談に関して様子が見えないというご意見

→「キャリアパスポート」を活用した、小学校6年間から中学校3年間の継続した進路指導について、引き続き取り組んでいくとともに、進学指導にとどまならない本校の指導について、発信をしていきます。

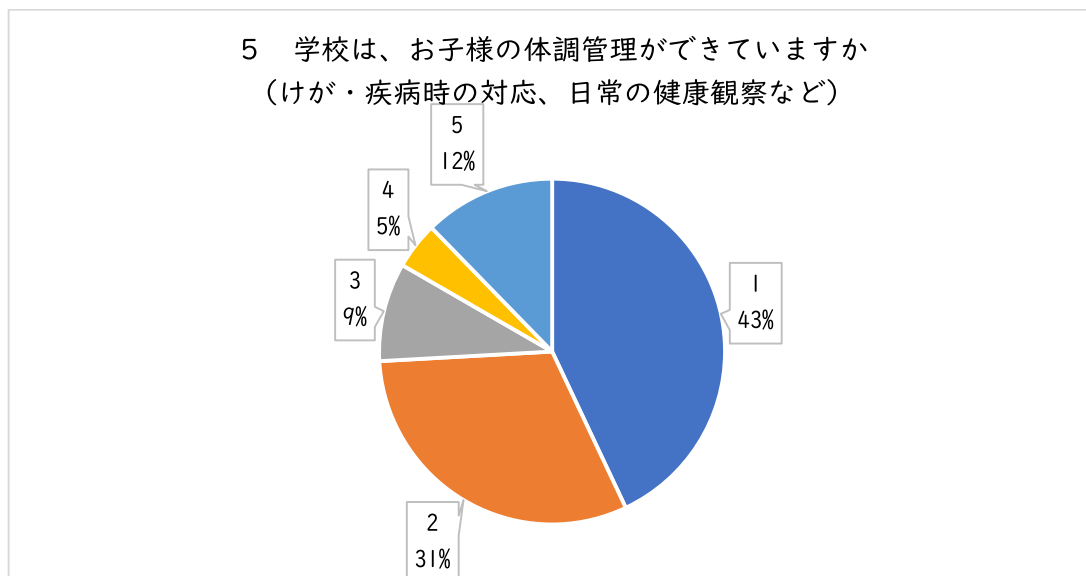
(4) 学校は、お子様と教師の信頼関係を築くことができますか



- ・肯定的な評価が66%
- ・教員が毎日熱心に授業、部活を行ってくれているというご意見
- ・教師の指導がきつく、言いたいことが伝えられないというご意見

→日々の学習活動だけでなく、部活動にも熱心に取り組む本校の生徒、および教職員が、コミュニケーションを多くとる中で信頼関係を築いていく土壌を踏襲しつつ、生徒個々人の個性に応じた対応の仕方を教職員が行えるよう、指導技術の向上と生徒観察の力の育成に努めます。

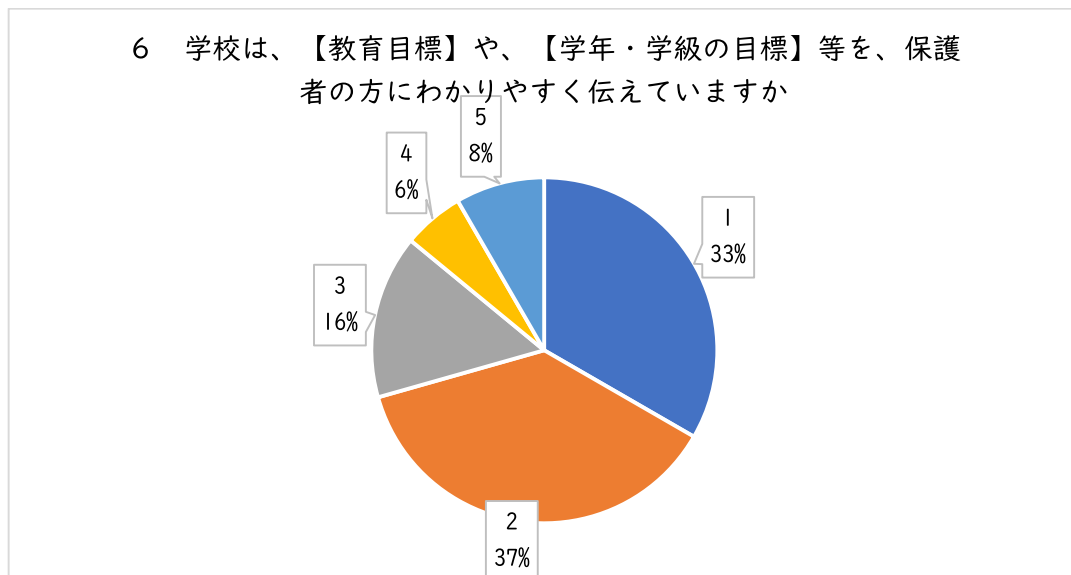
(5) 学校は、お子様の体調管理ができていますか（けが・疾病時の対応、日常の健康観察など）



- ・肯定的な評価が74%
- ・一昨年、昨年と、けがの状態を伝えたが授業で配慮されなかったというご意見
- ・養護教諭不在の際、頭痛で帰宅したが検温をしておらず、自宅で発熱していたというご意見。

→緊急時の対応において、養護教諭・担当教諭、管理職とが情報を共有して迅速に活動することができています。保護者の方からの連絡事項、養護教諭不在時の学校の対応について、再度検討してまいります。

(6) 学校は、【教育目標】や、【学年・学級の目標】等を、保護者の方にわかりやすく伝えてありますか

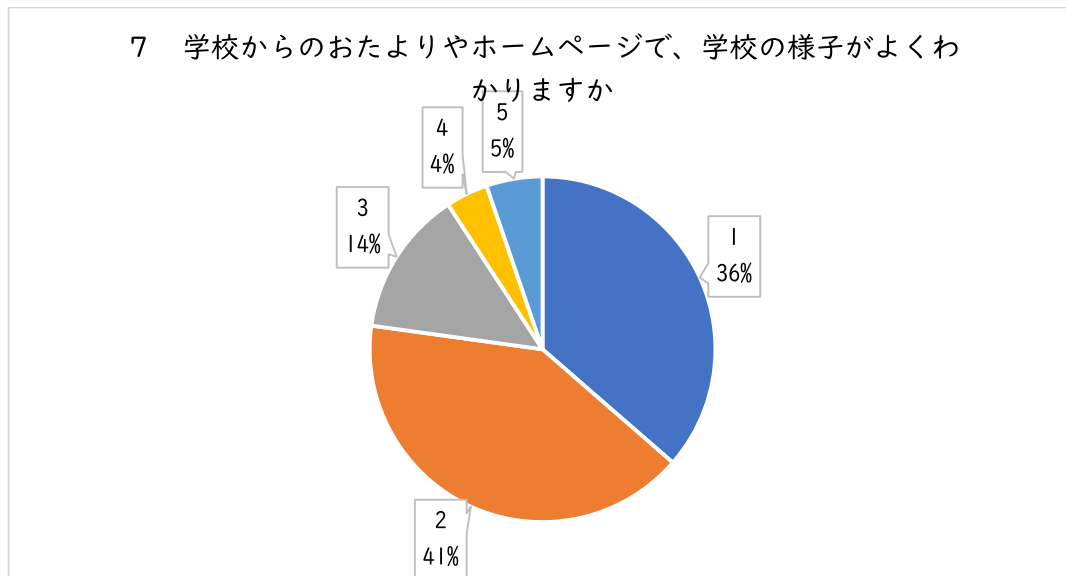


・肯定的な評価が70%

→年度初めに【教育目標】をHPに掲載して周知し、保護者会頭において「学年・学級の目標」を周知することができました。

また、各行事では各学級、各学年がそれぞれ目標を定め、廊下に掲示して取り組むなど、スモールステップでの課題達成に努めています。

(7) 学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかりますか



・肯定的な評価が77%

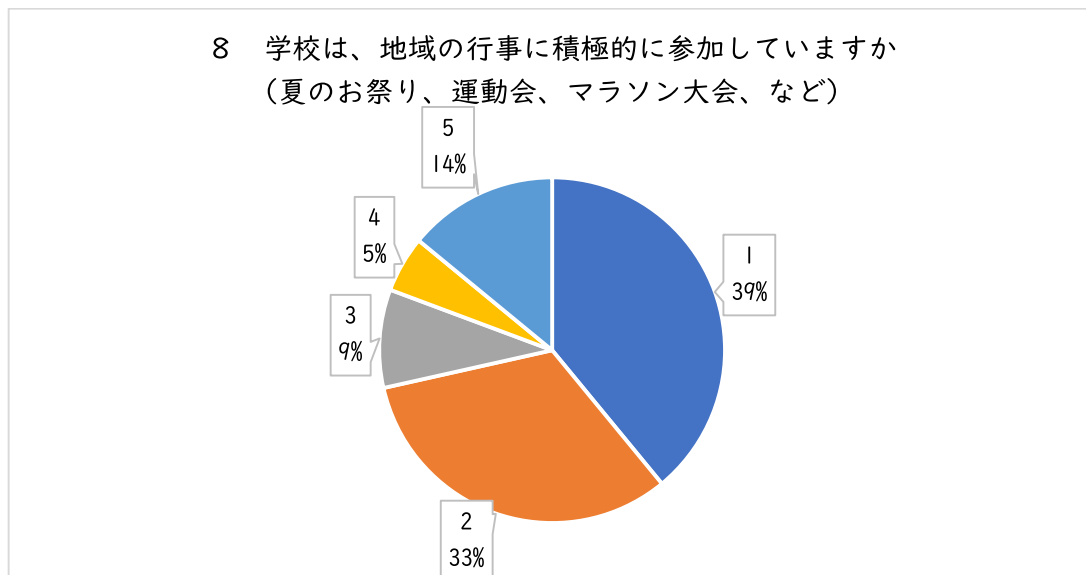
・配布物を興味深く読んでおり、家族内での共有のため紙での配布がありがたいというご意見

・tetoruの活用を進め、ペーパーレスにしてほしいというご意見

→今年度より、学校だよりの定期発行、およびホームページへの掲載を実施しています。また、週に1回の学年だよりの発行、月に1回の給食だよりの発行、献立表、保健だよりの発行とホームページへの掲載を実施しています。

それぞれの配布物については、従来の紙面での発行とともに、区で導入したtetoru（保護者のスマートフォンからの欠席連絡受信、および学校からの情報発信アプリ）でも配信をしています。今回の学校アンケートのほか、各種調査についても、tetoruを活用して配信しています。

(8) 学校は、地域の行事に積極的に参加していますか (夏のお祭り、運動会、マラソン大会、など)

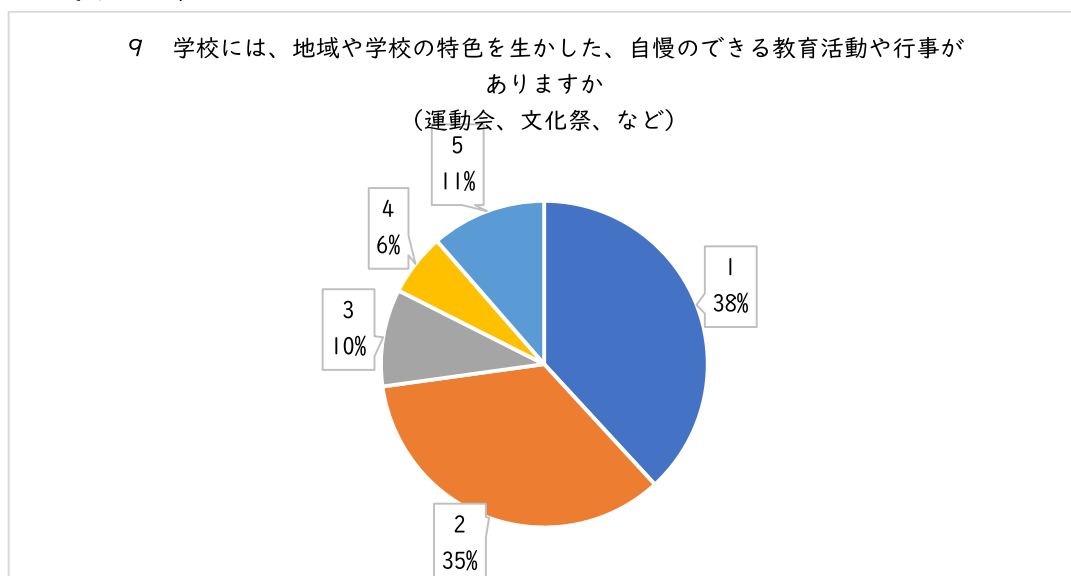


・肯定的な評価が72%

→小松川平井地区連合第大運動会には、約150名の生徒がボランティアを申し込みました。小松川平井地区マラソン大会については、約30名の選手申し込みと、約25名のボランティア申し込みを行いました。

また、夏のお祭りや地域行事には吹奏楽部が演奏として参加をし、会場を盛り上げました。

(9) 学校には、地域や学校の特色を生かした、自慢のできる教育活動や行事がありますか (運動会、文化祭、など)



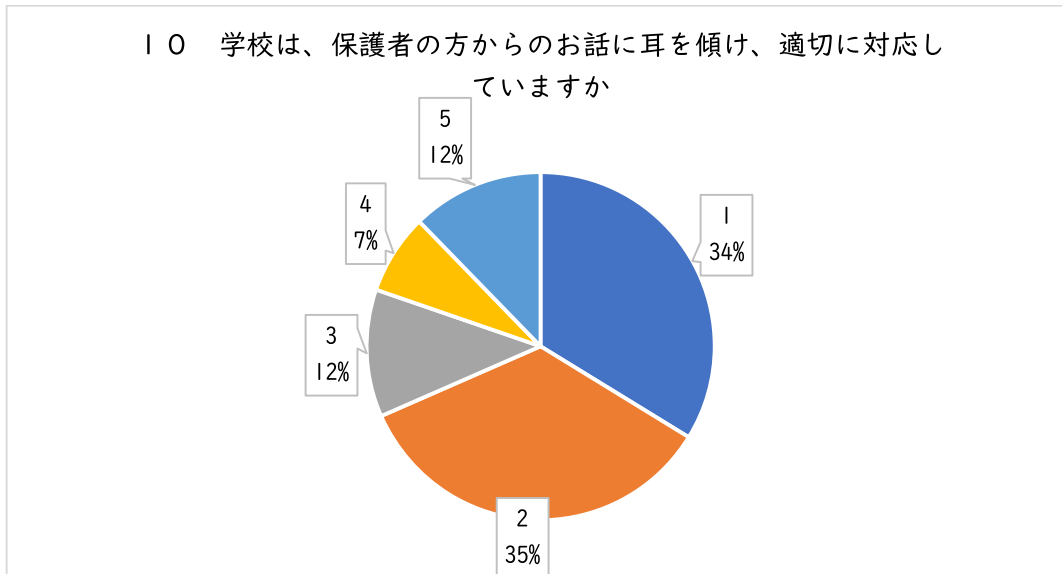
・肯定的な評価が73%

・行事と定期考査の感覚が短かったというご意見

→運動会においては、今年度は保護者の方の入場制限を設けずに実施をし、多くの方にご覧いただくことができました。文化祭合唱コンクールの部では、ティアラこうとうにて、IDホルダーを持つ各家庭2名の保護者に参観いただき、ご覧いただきました。

運動会では、保護者の方の入場制限を設けなかったことで、「卒業生」や「保護者ではない家庭の方」が入場できるのか、事前の検討が不十分で受付にご協力いただいたPTAの方と共有ができておらず、ご迷惑をおかけしました。

(10) 学校は、保護者の方からのお話に耳を傾け、適切に対応していますか



・肯定的な評価が69%

→江戸川区における「令和5年度学校における働き方改革へのご理解とご協力のお願い」に基づき、本校においても『電話の自動応答メッセージ』および『学校閉庁期間』について」を作成し、ご理解を求めているところです。

様々な媒体でいただく保護者の方からのお話を、必要な教員、分掌に共有し、丁寧な対応を心がけてまいります。

3 回答取りまとめを受けて

ホームページや、生徒の話から伝わる学校活動を除くと、およそ15%程度の方が「学校の教育活動が見えにくい」とお答えになっています。引き続き、各種媒体において学校の教育活動を発信していくとともに、保護者会、PTA常任委員会等の機会をとらえて、積極的に活動をお伝えしてまいります。

学習活動の要である「授業のわかりやすさ」についても、肯定的なご意見が62%にとどまりました。生徒が自ら課題を見付け、学習に取り組む体験を積み重ねることで、生徒の学習意欲を喚起し、教員が「学んでほしい」、生徒が「学びたい」と思える学習空間を作れるよう、活動してまいります。